



2-4 出雲大社 ⇒ 島根ワイナリー ⇒ 堀川めぐり～松江城周辺散策



Discovery

2年5組 大村 咲久

10月29日、私たちは1泊2日の思い出を作るためバスに乗った。最初の目的地は皆生温泉。クラスは前半と後半に分かれてカヤックとサイクリングをした。私の父は皆生トライアスロン大会に出場しており、幼い時から毎年応援のためこの地に来ている。皆生の海には大勢の鉄人が競い合う、そしてその光景はまるで大群のカモメが泳いでいるイメージを持ってきた。しかし、今回、友人とゆっくりと楽しみながら自転車をこぎ眺める皆生の海は、静かでゆったりとしている。同じ海でも眺める状況が違えば、感じることも大きく違うのだと面白く感じた。カヤックは初めての挑戦。いろいろ学ぶことも多く、またペアが上手に漕いでくれて新しい経験を存分に楽しむことができた。皆生の後、出雲大社では厳かに参拝、森山は全集中ではしゃぎ、2日間はあっという間に終わった。今年の修学旅行は新型コロナウイルスの影響で例年通りにはいかなかったが、大勢の方々のお力添えで開催されることができ、記憶に残る高校生活の思い出を作ることができた。

2-5 皆生カヤック・サイクリング ⇒ 出雲大社



2-6 出雲大社 ⇒ 島根ワイナリー ⇒ 堀川めぐり～松江城周辺散策



2-7 学校発 ⇒ 岩美町立渚交流館(SUPまたはシーカヤック) ⇒ 砂丘センター ⇒ さびアストパーク宿泊(学習会・天体観測) ⇒ 大山トレッキング ⇒ 学校着

理数科



卒業生からのメッセージ

9月に**教育実習生**としてこられた
卒業生からメッセージをいただきました!!

武庫川女子大学 健康・スポーツ学部 健康・スポーツ学科 井上 ゆい さん

こんにちは!この度新型コロナウイルスで世の中が大変な状況にある中、教育実習を受け入れてくださり、母校である鳥取東高校に教育実習生として帰ってくることができ、とても感謝の気持ちでいっぱいです。今年は様々なことが制限されてしまっているにも関わらず、実習中にあった東高祭では、生徒の皆さんが今できることを精一杯行い、自分たちで作りに上げている姿に感動し、私自身大きなパワーを貰いました。

私は大学で保健体育の教員になるための勉強をしています。高校3年生の時、とても進路に悩みましたが、この進路を選択した高校3年生の自分に感謝しています。悩みに悩んで選択した進路でしたが、自分の好きなことを全力で学べる大学生活は本当に楽しいです。

皆さんは今、勉強や部活、課題などに追われ、忙しい毎日を送っていると思います。その中で多くの悩みや葛藤があると思いますが、

友人や先生など周りの力も借りながら目標や夢に向かって頑張ってください。そしてとにかく、1度しかない高校生活を全力で楽しんでほしいと思います。



研修部の活動



本年度は渦中に伴い、研修部の活動も例年通りということになりませんでした。対策を施しながら鳥取環境大学オープンキャンパス、保護者のための進路セミナーの各活動を行いました。

鳥取環境大学オープンキャンパスでは、今年度から県内に手厚くなった入試のことや現在の学校の様子等わかりやすく伝えていただき非常に有意義な時間を過ごすことが出来ました。また、昨年度本校を卒業された吉澤美月様には大学の様子や大学を知る方法として具体的な行動などをお話いただき、受験に向かうにあたってのとても役立つ情報になりました。

保護者のための進路セミナーにつきましては、毎年校内で保護者向けの進路セミナーを開いていますが、今年は本校の生徒、保護者だけが見られる形で動画配信としました。

お子さまの進路が希望通りになりますよう、願っています。

(研修部部長 山根 正)



「自分事として」考えるために

コロナ禍において医療関係者への中傷が、その家族まで巻き込んでいるとか、プロテニスプレイヤーの大坂なおみさんが、マスクで人種差別への行動をするなど、人権に関わる事案が大きく取り上げられました。

これまで小中学校の保護者として、子どもたちの学校での人権学習の参観日があり、あるいは、メディアリテラシーやLGBTを人権の視点から理解を深める人権研修に参加してきました。そのなかで、「自分事として考える」とアドバイスされることが何度ありましたが、私には、この「自分事として考える」ことがなかなか難しいです。実感として身近なことのようには捉えられない、理由をつけて正面から向き合っていない自分がいます。せいぜい見出しの斜め読みなど、表面的な確認で終わっていました。しかし、がんばっている人への中傷などを聞くと、なぜそのような中傷をするのか腹立たしくなります。スポーツ選手が行動していると、多分この人たちも何らかの似たような経験があるのかなと思います。なかなか自分事としての思いにならないのです。でも、共通の認識を持つとか、気持ちを理解しようと思うばかりでした。思うばかりではダメだ、と思って、あえて、意識的に役員をしています。役員として活動のときだけでも考える時間としています。役員にならなくても、日常の意識の問題なのですが、実は、この役員としての活動が結構自分のためになる、気づきがある、「プチ感動」があったりします。おすすめします、人権教育部! (人権教育部 中山 教道)

(人権コラム「虹のしっぽ」について) 虹にしっぽなんてあるわけないと決めつけないで…。もしもあるなら見つけてみたい。考えるだけで楽しい気分になりませんか?

健康・生活部 Column

コロナ禍の健康生活部の活動

「食を通し心身共に豊かになる」というテーマを掲げ、予定していた

活動の案を立てる中、色々な制限をクリアし、ようやく8月に食育講演会「思春期の食生活」が開催できました。本来なら、講師と一緒に調理し、その場でいただくという流れの食育講演会の予定でしたが、今年は各部員が自宅でレシピをもとに調理し、出来上がった料理の写真とコメントを、部内グループラインに投稿する形にしました。コロナ禍で、仕事上出席が難しい部員も自宅から取り組み、参加型の流れができ、マイナスをプラスに変えることができました。こちらの内容は、12月に健康生活部だよりとして、全家庭にむけて発刊できるよう作成に取りかかっています。

子どもたちが制限の中で先生方と話し合いながら立案し、やり遂げた東高祭。開催できたことを嬉しく思い、励まされました。子どもたちと共に、親の心にも残る一年になりそうです。残りの半年弱、いくつかの課題が予想される中、健康生活部も東高魂を胸に、より良い食に関した情報を今年しかできない形で、部員一同保護者の皆様に発信していきたいと思っています。

(健康生活部部長 福田美由紀)

至高のとき・その2

部活を通して

生徒会執行部

生徒会執行部 前期生徒会長 message

中学では目立たなかった僕ですが、執行部に入り人前に立つことや人の関わりが増え、学校行事なども他の生徒とはまた違う視点から見ていく中で、一つ一つの物事に対する考えをより深めることが出来ました。2年半という短い期間ではありましたが、この執行部での経験や考え方をこれからの人生に活かしていけたらと思います。(3年3組 杉本優心)

生徒会執行部 保護者 message

3年生の皆さん、生徒会執行部での活動お疲れさまでした。行事の計画、運営、ボランティア活動等様々な活動を行ってきたことと思います。人の役に立つために行動をする、このような経験はなかなか出来ることではなく、きっと自分達の成長にも繋がります。執行部で学んだことを活かし、それぞれの道で活躍されることを願っています。ファイト!! (保護者 杉本愛美)

書道部 部長 message

私達は学年の壁を越え、互いに切磋琢磨しながら作品制作やパフォーマンスに取りくんできました。今年は思う様に活動できず、悔しい思いもいましたが、今できる事をやりきったと思います。3年間、楽しい事もつらい事もたくさんありましたが、この仲間と書道ができて本当に良かったです。かけがえのない3年間に感謝しています。(3年3組 馬場友梨恵)

書道部

書道部 保護者 message

先輩方の背中を追いかけて、東高の伝統を守り続けながら、3年間、練習に励みましたね。毎回みんなで意見を出し合い、何度もやり直し、足の裏を真っ黒にしながら作り上げたパフォーマンス。ずっと憧れてきた「高校書道パフォーマンス」はいつもとは違う形の開催になりましたが、パフォーマンスが出来ることに感謝しながら、3年間の集大成としてビデオ撮影に挑みました。想いの詰まったパフォーマンスは本当に素晴らしかったです。みんなの力強い姿に感動と元気をもらいました。本当にありがとう。これからのみんなの活躍を応援しています。最後に今までご指導いただいた先生方、支えてくださった皆さんに感謝申し上げます。(保護者)

演劇部 部長 message

僕たち演劇部は、コロナにめげず7月末に無事東大会を終えることができました。大会延期によって、期末テストをはさんだりしつつも、どの部員もがんばってくれたと思います。ここにくるまでたくさんの苦難がありました。でもそれを乗り越えて、無事引退までがんばって来ることができました。1・2年生にも一生懸命がんばってほしいです。(3年3組 岡本悠佑)



演劇部

演劇部 保護者 message

入学して、演劇部に入ると言ったときには驚きました。大変な事もあったようですが、3年間楽しく部活動することができました。今年は新型コロナウイルスの影響で練習が思うようにできませんでしたが、大会での発表の場を作って頂き感謝しています。ありがとうございました。(保護者)

将棋同好会

「この子らも世の光に」

部落解放研究部

茶道部 部長 message

私たち茶道部は、東高祭でお茶会を開くために頑張ってきました。今年は新型コロナウイルスの影響で開催が危ぶまれていたそうですが、無事に成功させることができました。茶道において大切だと教わった礼儀、気遣い、おもてなしの心などは、今後の生活に生かせることばかりだと思っています。貴重な経験をさせてもらって、本当に良かったです。(3年7組 池本奈月)

茶道部 保護者 message

今年は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、皆さんも今まで体験したことのない事態に巻き込まれ、学校生活に多くの制約ができる大変な年となってしまいました。毎年開催される東高祭で、1年生、2年生とお点前が上達するのを見るのがとても楽しみでした。最後の東高祭に行けなかったのは本当に残念ですが、部活動を通して学校生活がより豊かなものになり、心身ともに立派に成長できたことと思います。(保護者 池本好徳)

茶道部

美術部 部長 message

私たち美術部は、他の部のように大きな目標はありませんでしたが、部員同士の会話や絵を描くことを楽しみながら活動することが出来ました。東高祭の展示や展覧会への参加などにより、他の人の作品を見て学ぶことも出来て良い経験となりました。少ない活動でしたが良い思い出です。これからも絵を描くことを続けていきたいと思っています。(3年6組 西川郁実)

美術部 保護者 message

1年の途中から入部した美術部。文化祭の作品展示や展覧会への出展へ向けての作品作りなど、同学年が1人という中、部員の方や顧問の先生方にお世話になり楽しく3年間活動することが出来ました。コロナ禍の今、絵を描いて楽しめるということはきっと、これからの学生生活や人生を豊かにしてくれるものと願ひ応援しています。(保護者 西川洋子)

美術部

吹奏楽部 部長 message

私が吹奏楽で得たものは、音楽を通じて本気で向き合える仲間です。意見が合わずぶつかる事もあったが、演奏を聴いてくださる方々の心に届く演奏を目指すべく、信念を持って共に励んだ充実の3年間でした。最後の年は大会が全て中止となり心残りはありますが、顧問の先生方を始め多くの方々とのお会い、ご指導に深く感謝しています。(3年6組 岡田彩花)

吹奏楽部 保護者 message

最後の年のコンクールは中止になってしまいましたが、先生方のご尽力により鳥取西高との合同コンサートで風紋広場で行うことができました。楽しそうに演奏する子どもたちの姿に、たくさんの感動をもらいました。共に頑張った部員や先生方への思いは、一生の宝になったことと思います。ありがとうございました。(保護者 岡田康史)

吹奏楽部



水泳部





陸上競技部 部長 message

陸上部は、各大会での優勝・入賞や自己ベストの更新を目標に、練習に取り組んできました。その中で、陸上競技のほとんどは個人種目で試合は自分との戦いですが、仲間の支えなくして良い結果を残すことはできないと感じました。練習では切磋琢磨して高め合い、試合ではお互いに応援し合う。一緒に頑張ってくれる仲間感謝して、1・2年生には自分たち以上に活躍して欲しいです。(3年4組 山下直人)

短距離部長

陸上競技部 保護者 message

活発でありながらも自信の持てなかった息子は、陸上競技に出会ってから積極的に友人もグッと広がりました。自己新記録を出すために地道にトレーニングを重ねていく、殆どが個人プレーの競技ですが、予想以上に部員はとも仲が良く嬉しい驚きでした。大会では成長した精一杯の姿を見せてくれ、感動を沢山貰いました。苦楽を共にした仲間とは、今後お互いを高め合える存在でいてくれたら嬉しいです。(保護者)

長距離部長



野球部 部長 message

僕達野球部は「甲子園出場」を目標に掲げ日々練習に打ち込んできました。新型コロナウイルスの影響で甲子園中止が決定してからも代替大会に向けて自分たちには何が足りないのか各自で考え練習してきました。大会では楽しんでプレーすると共に、当たり前前に野球が出来ていることや、今まで支えてくださった方への感謝の気持ちを持ってプレーすることができました。悔しい結果とはなりましたが、1・2年生にはこの経験を来年以降につなげて欲しいと思います。3年間ありがとうございました。(3年3組 中谷日和)

野球部 保護者 message

高校生活の中で、学業・部活に対する思いは大きなものであると思います。コロナの蔓延で、思うようにできなかった反面、これから進む道への手がかり、強さを手に入れることができたことと思います。コロナによって、経験できたこと、得たことは、必ずこれからの人生に生きるものと考え、過ぎて欲しいと願います。親として、みんなを誇りに思うとともに、いつまでも応援しています。(保護者)



□ボート

全国高等学校ボート選手権特別大会(9/16~20)

- ・男子舵手付きワドルプル 一次予選不通過
- 田中 利空(2-1)・山本 雄翔(2-1)・西尾 大智(2-3)・田中 智也(2-4)
- 山本 乙稀(2-4)・中本 翔太(2-5)・澤 詠介(2-6)

湖山レガッタ兼鳥取県高等学校新人戦兼第32回全国高等学校選抜ボート大会

- 鳥取県予選会(10/24~28)
- ・男子シングルスカル 山本 乙稀(2-4) 4位
- 田中 利空(2-1) 5位
- ・男子ダブルスカル 中本 翔太(2-5)・國本 知輝(1-5)ペア 3位
- ・男子舵手付きワドルプル 3位
- 山本 雄翔(2-1)・但井 柊斗(1-7)・西尾 大智(2-3)・田中 智也(2-4)・澤 詠介(2-6)
- ・女子シングルスカル 高垣希来里(2-5) 5位
- ・女子ダブルスカル 升本 有紀(2-5)・池原 里奈(2-2)ペア 準優勝

中国予選出場

第32回全国高等学校選抜ボート大会中国地区予選会(10/31~11/1)

- ・女子ダブルスカル 升本 有紀(2-5)・池原 里奈(2-2)ペア 4位

□水泳

第70回鳥取県高等学校新人水泳競技大会(9/6)

- ・男子総合 4位
- ・女子総合 3位
- ・女子400mリレー 3位
- 谷口 真凜(1-5)・山元 綾乃(1-7)・澤 杏沙(2-1)・本田 志帆(2-1)
- ・男子400mリレー 5位
- 北本 樹輝(2-6)・渡辺 和葉(2-6)・柳川 混介(2-3)・岡垣 健(2-5)
- ・女子400mメドレーリレー 優勝
- 澤 杏沙(2-1)・山元 綾乃(1-7)・本田 志帆(2-1)・谷口 真凜(1-5)

・男子個人

- 岡垣 健(2-5)・50m自由形 準優勝
- ・200m個人メドレー 6位
- 渡辺 和葉(2-6)・50m自由形 7位
- ・100mバタフライ 5位
- 北本 樹輝(2-6)・200m自由形 6位
- ・200m平泳ぎ 4位
- 高田 暖大(2-1)・100m平泳ぎ 8位
- ・200m背泳ぎ 4位
- 柳川 混介(2-3)・100m自由形 5位
- 益田龍之介(1-1)・100m背泳ぎ 5位
- 植田匠一郎(1-1)・200m平泳ぎ 6位
- 山口 蓮(1-3)・100mバタフライ 7位

・女子個人

- 本田 志帆(2-1)・200m自由形 優勝
- ・200m個人メドレー 優勝
- 澤 杏沙(2-1)・100m背泳ぎ 4位
- ・200m背泳ぎ 4位
- 山元 綾乃(1-7)・100m平泳ぎ 4位
- 谷口 真凜(1-5)・50m自由形 4位
- ・100m自由形 準優勝

□野球

夏季鳥取県高等学校野球大会(代替大会)(7/11)

- ・1回戦 鳥取東 3-10 米子松蔭

秋季鳥取県高等学校野球大会(9/19)

- ・1回戦 鳥取東 0-6 八頭

□フェンシング

鳥取県高等学校フェンシング新人戦(10/31)

- ・女子フルーレ 八木 雪乃(2-3) 優勝
- ・女子エペ 八木 雪乃(2-3) 優勝
- ・男子フルーレ 竹田 大起(1-7) 4位
- ・男子エペ 竹田 大起(1-7) 4位

□自転車 今井 純志(3-3)

鳥取県自転車競技選手権大会(県総体代替大会)(6/7)

- ・男子スプリント 3位
- ・男子1kmタイムトライアル 3位
- ・男子ケイリン 5位

鳥取県自転車競技選手権大会ロードレース(県総体代替大会)(7/12)

- ・男子トラック Aクラス(45km)出場
- 2020JCSPAジュニアサイクルスポーツ大会全国大会(9/11~13)
- ・男子ケイリン 5位

2020年全日本自転車競技選手権大会トラックレース(ジュニア)兼

2021年JCFジュニア強化指定選手選考会(9/19~21)

- ・男子ケイリン 1回戦敗退

□放送

鳥取県高等学校放送コンテスト東部地区大会予選会(7/19)

- ・朗読部門 楳原 綾(2-3)・藤井 希望(2-4)・矢原 ゆら(1-1) 入賞
- ・アナウンス部門 林 春那(1-7) 入賞

鳥取県高等学校放送コンテスト鳥取県大会(7/26)

- ・朗読部門 藤井 希望(2-4) 優秀賞 近畿総文祭出場
- ・アナウンス部門 林 春那(1-7) 奨励賞

鳥取県高等学校総合文化祭鳥取県大会(11/5)

- ・VM(ビデオメッセージ)部門 奨励賞 中国大会・近畿総合文化祭出場
- ・アナウンス部門 林 春那(1-7) 特別賞 全国高校総合文化祭出場
- ・朗読部門 藤井 希望(2-4) 奨励賞 中国大会出場

□将棋

第40回近畿高総文祭将棋部門鳥取県予選会(8/2)

- ・男子個人戦 辻 侑也(3-6) 5位
- ・女子個人戦 澤田 涼風(3-3) 優勝

第29回全国高文連将棋新人大会鳥取県予選(11/3)

- ・男子個人戦 出場

□書道

第13回全国高校生大作書道展

- ・団体 団体奨励賞(全国で2校)
- ・個人 見生 七菜(3-5) 大作優秀賞(全国4位相当)

第21回席上揮毫大会(9/12)

- ・行書の部 岡村帆乃佳(2-4) 最優秀賞

□演劇

第73回鳥取県東部地区高等学校演劇発表会(7/29~31)

- ・県大会 出場

第48回鳥取県高等学校演劇発表会(10/23~25)

- ・県大会 出場

運動部・文化部の大会結果

柔道

鳥取県高等学校総合体育大会(代替大会)柔道競技の部(8/1)

男子団体	準優勝
男子60kg級	田中 直翔(2-6) 3位
男子66kg級	西原 旺祐(1-2) 3位
男子73kg級	田口 英永(2-2) 3位
男子90kg級	小林 晴(3-7) 優勝
男子100kg級	牧浦 太陽(3-2) 優勝
男子100kg超級	安井 智哉(1-5) 3位



鳥取県高等学校柔道新人戦(10/17)

男子団体	準優勝
男子66kg級	西原 旺祐(1-2) ベスト8
男子73kg級	田口 英永(2-2) 準優勝
男子81kg級	児玉 颯来(1-4) 3位
男子100kg超級	安井 智哉(1-5) 準優勝

陸上競技

鳥取県高校総体(陸上競技選手権大会)(7/4~5)

男子4×100mR	6位
男子4×400mR	6位
男子4×400mR	8位
男子800m	山下 直人(3-4) 優勝
男子三段跳び	米原 渉(3-4) 3位
男子110mH	戸田 哉汰(2-5) 4位
男子3000m障害	安東潤一郎(2-1) 5位
男子1500m	出脇 汰一(3-3) 6位
男子砲丸投げ	中嶋 武琉(1-6) 4位
	森本 康平(1-1) 6位
女子400m	原田 真暢(1-5) 6位
女子3000m	森本 結名(2-2) 6位
女子砲丸投げ	細田 知花(1-5) 5位
	山下 颯葵(1-1) 6位



第55回鳥取県高等学校総合体育大会駅伝競走(11/1)

男子	5位 中国高校駅伝出場
女子	6位 中国高校駅伝出場

男子第62回中国高等学校駅伝競走大会(11/20~22) 29位

上田 仁太(2-4)・湯谷 文哉(1-2)・安東潤一郎(2-1)・白水 渉太(2-7)・田中 勇輝(1-5)・國森 郁光(1-6)・森田 剛(2-6)

女子第34回中国高等学校駅伝競走大会(11/20~22) 27位

森本 結名(2-2)・湯谷 美月(1-2)・森本 有咲(2-3)・小泉 百華(2-7)・濱野 陽菜(2-6)
--

バスケットボール

ウィンターカップ2020第73回全国高等学校バスケットボール選手権大会

鳥取県予選会(10/30~11/3)

男子	ベスト8
女子	3位

バレーボール

第73回全日本バレーボール高等学校選手権大会鳥取県大会(11/14)

男子	1回戦敗退
女子	ベスト8

テニス

鳥取県高等学校テニス選手権夏季大会(県総体代替試合)(6/13)

男子シングルス	徳永 隆行(3-2) 3位
	中野 藍澄(3-3) ベスト8
男子ダブルス	尾崎 海斗(3-7)・上野 大輔(2-4)組 優勝
	中川 皓太(3-1)・松尾 遼大(3-6)組 ベスト8
女子シングルス	三木 和歌(3-7) 3位
	茂木 梨花(3-1) ベスト8
女子ダブルス	安岡 蘭夏(3-4)・杉野 令来(2-2)組 3位
	長谷川 麗(3-4)・松岡 佑奈(3-5)組 ベスト8
	山下 歩美(3-7)・松本 萌(3-4)組 ベスト8

鳥取県高等学校テニス新人戦東中部地区予選(9/26~27)

男子シングルス	中村 太陽(2-5) 3位
	三神 考平(1-7) 6位
男子ダブルス	上野 大輔(2-4)・小見山典己(2-7)組 優勝
女子シングルス	長谷川 裕美(2-3) 優勝
	吉田 悠華(2-4) 準優勝
	須崎 葵唯(2-2) 3位
	伊木 結菜(2-3) 5位
	市村 恵奈(2-1) 8位
女子ダブルス	杉野 令来(2-2)・谷口 あい(2-1)組 2位
	長谷川 裕美(2-3)・須崎 葵唯(2-2)組 4位

鳥取県高等学校テニス新人戦(10/17~18)

男子シングルス	上野 大輔(2-4) 3位
男子ダブルス	上野 大輔(2-4)・小見山典己(2-7)組 3位
女子シングルス	杉野 令来(2-2) 準優勝
	須崎 葵唯(2-2) ベスト16
	長谷川 裕美(2-3) ベスト16
	橋本 花恋(1-2) ベスト16
女子ダブルス	杉野 令来(2-2)・谷口 あい(2-1)組 ベスト8
	長谷川 裕美(2-3)・須崎 葵唯(2-2)組 ベスト8

鳥取県高等学校テニス新人戦団体の部(11/7~8)

男子団体	ベスト8
女子団体	準優勝 中国大会出場

中国高校選抜テニス大会(11/20~22)

女子団体	1回戦 鳥取東 2-3 出雲西
女子団体(メンバー)	谷口 あい(2-1)・三上陽奈子(2-1)・杉野 令来(2-2)・須崎 葵唯(2-2)・露木 花音(2-2)・長谷川 裕美(2-3)・伊木 結菜(2-3)・吉田 悠華(2-4)・橋本 花恋(1-2)

ソフトテニス

鳥取県高等学校総合体育大会代替大会ソフトテニス競技の部(6/20~21)

男子団体	3位
男子個人	國本 凌(3-3)・坂本 篤祥(3-1)組 5位
女子団体	ベスト8
女子個人	山下 優羽(3-3)・井手野夏希(2-1)組 ベスト16

第56回鳥取県高等学校ソフトテニス新人戦(10/31~11/1)

男子団体	ベスト8
男子個人	中嶋 大真(2-7)・安木 謙(2-2)組 ベスト8
女子団体	ベスト4
女子個人	井手野夏希(2-1)・横山 智咲(1-6)組 ベスト8

第46回鳥取県高等学校選抜ソフトテニス大会(11/14)

女子団体	4位 中国大会出場
------	-----------

バドミントン

鳥取県高校新人戦バドミントン競技東部地区予選会(10/24~25)

男子ダブルス	中原 一熙(2-1)・野際 叶太(1-5)ペア ベスト16
男子シングルス	中原 一熙(2-1) ベスト16
女子ダブルス	木下 結菜(2-6)・門脇 想(1-7)ペア 6位
	田中あろは(2-4)・福田 友梨(2-3)ペア 8位
	福田 千晴(1-3)・吉田 小夏(1-3)ペア ベスト16
女子シングルス	門脇 想(1-7) 6位
	田中あろは(2-4) ベスト16
	木下 結菜(2-6) ベスト16
	岩田 咲希(1-3) ベスト16

鳥取県高等学校新人バドミントン選手権大会(11/6~8)

男子団体	1回戦敗退
女子シングルス	門脇 想(1-7) ベスト8

卓球

鳥取県高等学校卓球新人戦大会東部地区予選(10/24~25)

男子団体	県大会出場
男子シングルス	田中 翔(2-5) ベスト8
	野村 和生(2-7) ベスト8
女子シングルス	網澤 綾乃(2-2) ベスト8
	山本 果歩(2-4) ベスト8

鳥取県高等学校卓球新人戦大会(11/7~8)

男子団体	5位
男子シングルス	田中 翔(2-5) ベスト16
	野村 和生(2-7) ベスト32
女子シングルス	2名出場

全国選抜中国予選代表決定戦(11/7~8)

男子団体	鳥取東 1-3 倉吉東
------	-------------

ビームライフル

第55回鳥取県高等学校総合体育大会ライフル射撃競技会(代替大会)(8/9)

男子団体	鳥取東A 優勝
男子個人	優勝
男子団体	鳥取東B 3位
男子個人	優勝
男子団体	3種目 3名団体
エアライフル男子立射60発	高藤 晃一(2-2) 準優勝
ビームライフル男子立射60発	高藤 晃一(2-2) 優勝
	楠城 聖生(2-5) 3位
	中原 聡(1-1) 6位
	福田 績求(2-7) 優勝
	坂田 匡弥(2-5) 準優勝
	高田 千空(2-5) 4位
	田中 綾音(2-1) 4位
	田中 綾音(2-1) 4位
	瀬戸 美有(1-6) 3位

第4回鳥取県高等学校ライフル射撃競技新人大会(10/25)

エアライフル男子立射60発	高藤 晃一(2-2) 優勝
ビームライフル男子立射60発	高藤 晃一(2-2) 準優勝
	楠城 聖生(2-5) 3位
	中原 聡(1-1) 5位
	坂田 匡弥(2-5) 優勝
	高田 千空(2-5) 準優勝
	福田 績求(2-7) 4位
	田中 綾音(2-1) 3位
	田中 綾音(2-1) 3位
	瀬戸 美有(1-6) 準優勝

第5回中国高等学校ライフル射撃競技新人大会(11/15)

エアライフル男子立射60発	高藤 晃一(2-2) 4位
ビームライフル男子立射60発	高藤 晃一(2-2) 4位 全国大会出場
ビームピistol男子立射60発	坂田 匡弥(2-5) 6位
エアライフル女子立射60発	田中 綾音(2-1) 6位

サッカー

第55回鳥取県高等学校総合体育大会サッカー競技(代替大会)(6/13~21)

男子	準優勝
----	-----

第99回全国高校サッカー選手権鳥取県大会(10/17~11/1)

男子	ベスト8
----	------

第29回全日本高校女子サッカー選手権鳥取県予選会(10/17~24)

女子	2回戦敗退
----	-------

第55回鳥取県高校サッカー新人大会(11/13~15)

男子	ベスト8
女子	4位

弓道

鳥取県高等学校総合体育大会弓道競技の部(代替大会)(6/7~13)

男子個人	中根 拓己(2-5) 6位
女子個人	森下 紗妃(3-2) 4位

第62回鳥取県高等学校弓道新人大会(10/25)

男子団体・個人	出場
女子団体・個人	出場



東高いいね！

二年四組 上野 大輔
東高での生活も安定し、後輩もできたことで、一年生の時とは違い責任感が生まれてきました。中学生の時とは異なり、「先輩」と言う言葉の重さが肩にのしかかっています。同時に、今の東高を創つていけるという楽しさを噛みしめているので漬れてしまうことはなさそうです。

東高はいつも賑やか、勉強、部活、行事全てに全力です。特に、東高祭では伝統的に生徒の浮きこぼれた興奮が爆発しています。

しかし、最近のコロナへの対策で例年とは異なる仕様で東高祭が行われました。それにより先輩方が創り上げてきた伝統を満足のいく形で見せられず、一年生にとっては不明瞭だったかもしれない。伝統をここで切らさないよう東高生らしく振舞っていきたい所存です。

今は多くの人が他人に敏感になっている時期ですが、私たちは自分らしく学校生活を楽しくしていきます。応援よろしくお願いします。

高校生活半分を振り返って

二年五組 水原 大陽
僕が東高に入学してから、一年と半年が過ぎました。この東高での高校生活について自分がどんなふうに過ごしているのかと思い、振り返ってみました。

まず部活動では、僕はバスケットボール部に入っています。とてもすばらしい仲間と出会うことができました。苦しいときは励まし合って、楽しいときは盛り上がる。そんな仲間がいるからこそ、お互いを高めあうことができました。

次に勉強では、僕は東高に入ってから自分の目標が明確になりました。自分の目標に向けての勉強をすることに意識を

おくようになり、勉強時間が増えました。最後に学校行事の東高祭では、クラスの出し物をクラスみんなと協力をして、失敗やハプニングがあってもなんとか成功させることができました。とても盛り上がる充実した非日常を楽しむことができました。

こうして今までの高校生活を振り返ってみると入学してから自分はとても成長したと感じます。しかし、まだまだ勉強でも部活動でも課題が山積みです。そんな課題に全力で取り組み、自分自身が成長するとともに、残り半分の東高での生活を充実したものにしたいと思います。

未来の自分のために

二年七組 中川 瑞喜
東高生活も、もう半分しか残っていないところまで来ました。

自分は入学時の課題作文で、「文武両道」「切磋琢磨」などを書いていました。この半分の東高生活の中で「武」は一生懸命取り組んできました。初心者ながら、まわりのレベルに追いつくために必至にいろいろなことをしてきました。しかし、「文」では切磋琢磨しているとはとても言えない状況に、ようやく危機感を覚えるようになりまし。

自分が大好きで尊敬している祖父に言われた言葉があります。「努力する前から泣き言を吐くな、誰より努力してできない時に吐け」。この言葉を胸に深く刻むだけでなく、紙に大きく書いて机の上に貼りました。

二年後の未来の自分のために、何事も全力で頑張り、最高の東高生活だったと言えるようにしていきたいと思っています。

親と子と仲間の繋がり

二年保護者 田中 敏晴
子どもが生まれて、気づけばもう十七年が経ちました。小さい頃は親の言うことを聞き素直に育ってくれましたが、中学生くらいになると思春期や自我が目覚め、自分の意見や思いを伝えてくるようになり、時には喧嘩になることもありました。子どもとしてではなく、対大人としての対応になり、親としての気持ち

わかってははかったのですが、なかなかうまく伝わらない事が多かった。文武両道の道を進むため東高に入学することを目標に頑張る姿を陰ながら応援し、その夢を叶えることができたときは本当に嬉しかった。高校においてはクラスメイトや部活動の仲間と出会い、楽しそうに生活を送っていました。怪我などがあり部活や学校生活に支障をきたす時期もあり、本人もとても苦しんで悩んでいました。それでも仲間に応援してもらい励まされ壁を乗り越え成長した姿を見送ってくれました。

学校生活も残すところあと一年半位になり、これからの進路に悩むときもあると思いますが、親子でぶつかりあい仲間に囲まれ夢を持って将来の道を進んで行っていくと思います。

我が家の全力少年

二年保護者 西尾 純子
習い事を幾つかしてきました。特に柔道は二歳頃から始めて何よりも長く稽古をしてきてきました。小学校、中学校とメンバーに恵まれたこともあって全国大会に出場する事が出来た。それでも柔道を楽しくしている風ではありませんでした。まるで義務のように、真面目に練習していました。いつごろから高校に入ったら、新しい事をする。」と言っていました。

そして入学式の日、先輩に誘ってもらいボートを体験する事に。体験の日はずっと家で、家に帰ると、青空の下で湖山池の水面をまるで滑るように進むボートに胸がすくような爽快な気持ちになったと嬉しそうに話してくれました。自分でやりたいと思う競技を見つけたみたいでした。

ハードだと聞いていたボート部に入部。自宅、東高、湖山池の二十キロ強を自転車で行く。その晴天ばかりではないので大変だと思います。帰宅しては疲れ切った、何もできずに座り込んでしまったり、何も競技と思っていなかったが、手のひらの皮がペロンと剥けて赤くなっているのを我慢げに見せられた時は驚くと同時に、そこまでの練習に感謝しました。本人曰く、柔道の練習に比べたら頑張れるとの事。頼もしい。

今年九月に開催された全国大会出場は、先輩方が掴んでくださったチャンス。コロナ禍ということもあり、本当に貴重な体験をさせていただき感謝しています。黙々と練習の先の目標が現実として体験出来たので、色々考えることができたようです。今後は、自分で選択して進んで行くことが増えると思います。選択に悩むこと、やりたい事を探しながらその時頑張ってきたことは、決して無駄にはなりません。あなたの人生の糧になると信じています。ついつい家族みんなが、うるさがるくらいサポートしてしまうけど……。

次のレースに向かって頑張れ！応援しています。

愛しの息子へ

二年保護者 前田 圭子
息子が生まれて早十七年。親になって十七年。

お腹に宿した時には「元気に産まれてくれればそれで十分」と待ち望んでいたあの頃。時が経つごとに「かけっこで一等賞をとってほしい」「テストでは良い点を」と、親の欲も段々と大きく強くなっていました。正直、子どもからすれば、「ほっといて！」「と叫びたいでしょうね。私も高校生だった当時、「親の言いなりになんて絶対ならない」と思ってたつてなんて思いながら、今の貴方を見えています。

もう少しで、私が親になった年齢に迫いつつ息子。そう考えると、もうじき巣立つてしまふのかと、寂しくもあり、楽しみでもあり、複雑な気持ちです。

将来なんて、なつてみないとわかりません。わからないけれど、十年後、二十年後、その先の自分を考えた時に、最高に幸せな将来になっているように、今出来ることを精一杯やってください。それが幸せな将来につながるのなら、精一杯応援します。

高校生活は今しかないよ！東高生として、有意義に楽しんで過ごしてください。

選ぶこと

二年保護者
人生は選択の連続です。やっとの思い

で受験を終えて東高に入学した日、今後の進路の話が始まりました。「えー！今日は入学式だよ」と思った事を思い出します。入学してまずは部活を選び。娘は中学と同じ部活を高校でも頑張る事を選びました。部活のメンバーは彼女にとって最高の友であり、辛い練習を共に乗り越えられるかけがえのない仲間です。彼女は「この部に入ってから良かった」と口癖のように言います。子どもが小さい頃は親が幼稚園や保育園や習い事を選んで道を作っていたイメージでしたが、高校生になった今、選ぶのは彼女です。高校生のもつぱらの興味の恋愛。付き合ったり、別れたり、これも子どもたちにとっては大事な選択だし、課題の多さやテストに追われる毎日でも東高を選んだのは彼女だから「また再テストだ」と聞く度に怒りや呆れを通り越して、いつか合格しない子どもたちには付き合う先生方を不憫に思うくらいです。

「どの大学の何学部がいい？選択科目は何を取ればいい？将来何をしたいの？」などと二年生になってから選ぶ事を日々考えさせられている彼女も、先を決める道は不安そうながらもありますが、選べる道は一つ、選ばなかった道はどんなに振り返っても見ることはできません。悩む彼女にかつて私も学部を選ぶ時、興味がなかったと選ばなかった道が今になって必要になっていく。あの時に戻れたら、そこじゃないと言っていた。ただ、あの時選んだ道だったから今の道に就いていて、あなたのお母さんになった。それは本当に幸せなこと。どんな道にも必ず意味はある。人生の大きな選択をする時は悩んだり、不安だったり、焦ったりするけど、自分で東高や部活を選んだからこそ、素敵な友人に出会えたし、辛いことも頑張れている。自分で選ぶことが大切だと思うよ。」と、もつともらしいことを話してみました。彼女のこれからの人生、時には選んだ道の後悔し、別の道を選び直すこともあると思いますが、私はどんなときも彼女の一番の味方であり、一番の理解者でありたいと思っています。

鳥取東高通信183号に写真、原稿等で協力いただいたみなさまに、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

文化広報部一同